

ERDB-JP

国内電子出版物の
国際発信力強化に向けた取り組み

学術情報基盤オープンフォーラム：コンテンツトラック

学術総合センター1208会議室

平成29年6月8日（木）10:00～14:30

鹿児島大学 北山 信一

大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

これからの学術情報システム構築検討委員会

電子リソースデータ共有作業部会

1. ERDB-JP構築の背景

2. 取り組み事例

3. 今後の課題

[学術情報システムが進むべき方向性]

1.統合的発見環境

2.メタデータの標準化

3.学術情報資源の確保

ref. 「これからの学術情報システム構築検討委員会」

平成27年5月29日.これからの学術情報システムの在り方について

http://www.nii.ac.jp/content/korekara/archive/korekara_doc20150529.pdf

- NACSIS-CAT/ILLの再構築
- 電子情報資源のデータの管理・共有
 - 電子リソースデータ共有作業部会

1.ERDB-JP構築の背景

5

[国内刊行出版物（電子リソース）のナレッジベース]

The screenshot shows the ERDB-JP website homepage. At the top, there's an orange header with the text "ERDB-JP" and "Electronic Resources Database-JAPAN". Below the header is a navigation bar with buttons for "HOME", "概要", "コンテンツ", "パートナー", "ドキュメント", and "お問い合わせ". The main content area features a search bar with the text "日本の電子リソースを世界へ" above it. Below the search bar, it says "11,743 Titles, 42 Partners". There's a paragraph of text about the database's purpose and a link to the CC0 1.0 Universal license. On the right side, there's a "ユーザーログイン" section with fields for "アカウント*" and "パスワード*", a "ログイン" button, and a "News" link.

ERDB-JP
Electronic Resources Database-JAPAN

HOME 概要 コンテンツ パートナー ドキュメント お問い合わせ

日本の電子リソースを世界へ

11,743 Titles, 42 Partners

RDB-JPは、大学・出版社・ナレッジベースベンダーが協力して構築する、日本で刊行された電子リソースのデータ共有サービスです。

サイト内に登録されたデータはCC0 1.0 Universalの下に提供されています。

データの検索・閲覧・エクスポートおよび新規登録・修正・削除依頼はどなたにでも行っていただけます。

ユーザーログイン

アカウント*

パスワード*

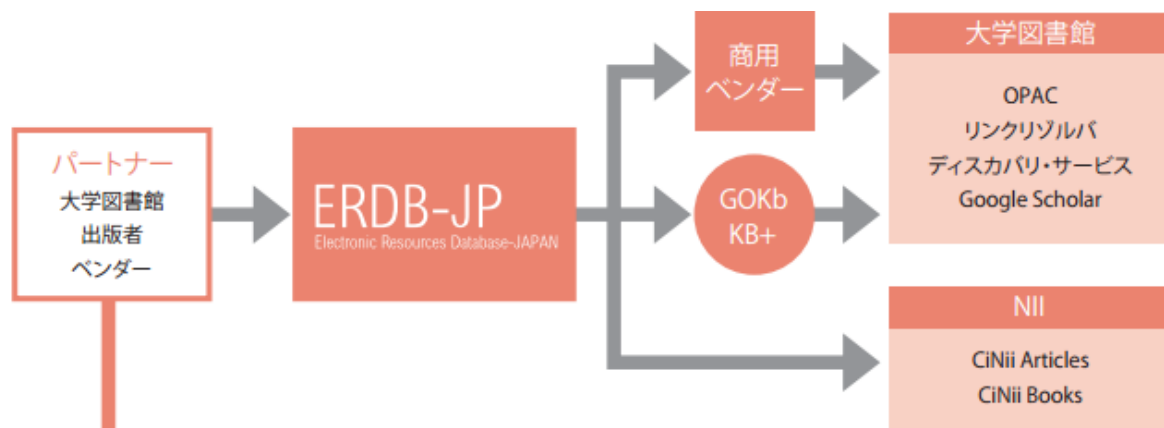
アカウントの作成
パスワードの再発行

ログイン

News

<https://erdb-jp.nii.ac.jp/>

「統合的発見環境」実現のために



登録に必要な項目はこれだけ

タイトル:NACSIS-CAT/ILL ニュースレター

タイトルヨミ:

NACSIS CAT ILL ニュース レター

別タイトル:

プロバイダー/パッケージ名 Freely Accessible Japanese Titles
National Institute of Informatics

本文言語:jpn

アクセスモデル:f

資料種別:Serial

カバー範囲:Fulltext

出版者:国立情報学研究所

タイトルレベルURL :<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/newsletter/>

プリント版ISSN / プリント版ISBN :1345-8728

eISSN / eISBN:

最古オンライン巻号の出版年月日 :2000

最新オンライン巻号の出版年月日 :2008

1.みんなで集めて

2.みんなを使う！

ERDB-JP活用事例

7

利用者

検索

CiNii Books

データ
取得

図書館

作成・修正

学会サイト

機関リポジトリ

**電子リソースを収集し、
URL・アクセス可否巻号等、
利用のために必要な情報を適切に
管理すること。**

ナレッジベースを適切に管理するために

9

管理したい項目



ERDB-JPに
電子リソース（アクセス情報）を
集めて終わり、ではなく、
継続してアクセス範囲や提供条件等
を細やかに管理する必要がある。

- 最適化された電子リソースを
- 図書館業務のワークフローの中で
- 効率よくナレッジベースに集約したい



電子リソース管理システム / 図書館サービス
プラットフォームの検証

電子リソース管理システムの利用可能性の検証について（平成 28 年度最終報告）

http://www.nii.ac.jp/content/korekara/archive/korekara_doc20170130.pdf

ERDB-JP参加機関

11

パートナーA：37機関

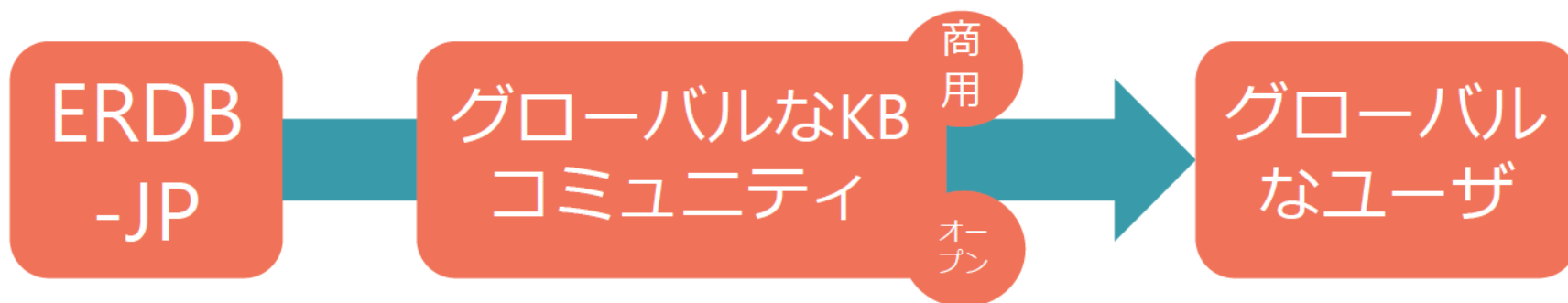
機関名	アカウント名
杏山学院大学	acoyama
秋田大学	libzas
医学中央雑誌発行会	ichushi
大森教育大学	OKU
大阪市立大学	osaka-city-university
岡山大学	okayama
岡山県立大学	OPU
お茶の水女子大学	ochanomizu
帯広畜産大学	obihiro
鹿児島大学	manabuta
金沢大学	kanazawa
九州大学	kyushu
京都大学	kyoto
信理看護大学	keio
神戸松蔭女子学院大学	KobeShoinLib
国際森林水産研究センター	jircas
国立植物研究所	nipr
国立情報学研究所	NIIlib
国立民族学博物館	minpaku
札幌医科大学	sapmed
サンメディア	sunmedia
島根大学	shimaneuniv
西南学院大学	seinan
千葉大学	chiba
筑波大学	tulips-tsukuba
電気通信大学	dentsu
東京海洋大学	turnsat-lib
東京学芸大学	togakudai
岡山大学	toyama
森林水産研究情報総合センター	affrit
一橋大学	hitotsubashi
広島大学	hiroshima-u
佛教大学	bukkyo
北海道大学	hokudai_lib
ユサコ	usaco
立命館大学	ritsunivlib
早稲田大学	waseda

パートナーB：11機関

機関名	アカウント名
関西大学	kansai
京都精華大学	KyotoSeika
京都第二赤十字病院	kyoto2jrc
甲南大学	konanlib
摂南大学	setsunan
東京文化財研究所	tobunken
同志社大学	doshisha
同志社女子大学	doshisha_womens
名古屋工業大学	nitech
農業・食品産業技術総合研究機構	naro
室蘭工業大学	muroran-it

参加機関（パートナー）
平成29年5月末現在 48機関

https://erdb-jp.nii.ac.jp/ja/content/partners_list



国内電子出版物を収集・整備し、そのデータをグローバルなナレッジベースに提供することで、国内の電子出版物を国際発信することができる。

ERDB-JP

Electronic Resources Database-JAPAN

[HOME](#) [概要](#) [コンテンツ管理](#) [マイコンテンツ](#) [パートナー](#) [ドキュメント](#) [お問い合わせ](#)

[ホーム](#) » [一覧／エクスポート](#)

一覧／エクスポート

サイト内に登録されたデータは、CC0 1.0 Universalの下で自由に利用できます。
エクスポート手順やKBART形式に関しては[利用ガイド](#)をご参照ください。

Export by extended KBART format(Tab-delimited text) | Export by extended KBART2 format(Tab-delimited text)

Total : 11104

プロバイダー／パッケージ名

資料種別

アクセスモデル

- すべて -

- すべて -

- すべて -

検索語句

並び替え

オーダー

検索

新着

降順

[広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター事業報告](#)

Print identifier: 1883-0188

[広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター F Serial](#)

[Freely Accessible Japanese Titles](#)

[リンク](#)

火、(

ERDB-JPに蓄積された
データはどのように
活用されるのか？

試しにエクスポートして
生のデータを
確認してみると……

<https://erdb-jp.nii.ac.jp/ja/exports>

ERDB-JP エクスポートデータ

14

鳥取県林業試験場研究報告→	0916-8206→	→	1988→	→	→	2007→	→	→	http://www.pref.tottori.lj
とびしま技報→	1349-4791→	→	2004→	→	→	2007→	→	→	http://www.tobi-tech.com/gihou.htm →
とびしま技報. 建築→	0387-5113→	→	1978→	→	→	2003→	→	→	http://www.tobi-tech.com/gihou.htm
とびしま技報. 土木→	0386-8796→	→	1973→	→	→	2003→	→	→	http://www.tobi-tech.com/gihou.htm
土木学会関西支部だより→	→	→	2000→	→	→	2008→	→	→	http://www.civilnet.or.jp/books.htm →
土木学会論文報告集→	0385-5392→	→	1969→	→	→	1984→	→	→	http://library.jsce.or.jp/jsce/op
土木学会論文集→	0289-7806→	→	1984→	→	→	2004→	→	→	http://library.jsce.or.jp/jsce/open/00037
土木学会誌→	0021-468X→	→	1915→	→	→	1960→	→	→	http://library.jsce.or.jp/Image_DB/mag/m
土木学会論文集→	0047-1798→	→	1949→	→	→	1968→	→	→	http://library.jsce.or.jp/jsce/open/00037
土木学会誌. 臨時増刊, 論文集→	→	→	1947→	→	→	1948→	→	→	http://library.jsce.or.jp/jsce/op
土木学会誌. 論文集→	→	→	1947→	→	→	1947→	→	→	http://library.jsce.or.jp/jsce/open/00037
土木情報システムシンポジウム講演集→	0915-5333→	→	1989→	→	→	2003→	→	→	http://www.jsce.o
土木情報システム論文集→	1342-3894→	→	1992→	→	→	2002→	→	→	http://www.jsce.or.jp/library/oper
土木情報利用技術講演集→	1349-1059→	→	2004→	→	→	2004→	→	→	http://www.jsce.or.jp/library/oper
土木情報利用技術論文集→	1349-1040→	→	2003→	→	→	2004→	→	→	http://www.jsce.or.jp/library/oper
土木満洲→	→	→	1941→	→	→	1944→	→	→	http://library.jsce.or.jp/Image_DB/mag/manshu/ind
土木史研究→	0916-7293→	→	1990→	→	→	2002→	→	→	http://www.jsce.or.jp/library/open/proc/m
土木史研究. 講演集→	1348-4346→	→	2003→	→	→	2004→	→	→	http://www.jsce.or.jp/library/oper
土木史研究. 論文集→	1349-5712→	→	2004→	→	→	2004→	→	→	http://www.jsce.or.jp/library/oper
富水試だより→	0917-8422→	→	2006→	→	→	2008→	→	→	http://www.pref.toyama.jp/branches/1661/s
とやま食研だより→	1341-576X→	→	2000→	→	→	2008→	→	→	http://www.pref.toyama.jp/branches
とやま農・園・畜研だより→	→	→	2008→	→	→	2008→	→	→	http://www.pref.toyama.jp/branches
とやま農技センターだより→	→	→	2008→	→	→	2008→	→	→	http://www.pref.toyama.jp/branches
富山県林業技術センターだより→	→	→	2004→	→	→	2007→	→	→	http://www.pref.toyama.jp/branches
豊田合成技報→	0287-3427→	1883-9746→	2000→	42→	1→	→	→	→	http://www.toyoda-gosei.co.jp/kig
豊田中央研究所R&Dレビュー→	0385-1508→	1347-9652→	1993→	→	→	2006→	→	→	http://www.tytlab
豊橋市自然史博物館研究報告→	0917-1703→	→	2008→	→	→	2009→	→	→	http://www.toyohaku.gr.jp
トライ : 茨城県工業技術情報誌. 工業・食品編→	→	→	→	→	1995→	→	→	2004→	http://www.kougise
トライ : 茨城県工業技術情報誌. 繊維・プラスチック編→	→	→	→	→	→	2000→	→	→	http://www
トライ : 茨城県工業技術情報誌. 窯業編→	→	→	2001→	→	→	2004→	→	→	http://www.kougise.pref.il
トライアングル→	→	1997-05→	→	2007-03→	→	→	→	→	http://www2.pref.iwate.jp/hp2088/toraiaang/index.l
塗料の研究→	0387-1347→	→	1998→	→	→	2008→	→	→	http://www.kansai.co.jp

ERDB-JP

Electronic Resources Database-JAPAN

宇宙航空研究開発機構契約報告

ビュー 編集

作成者: [cadmin](#) 作成日: 2013-10-17 更新者: [keio](#) 更新日: 2017-05-10 オーナー: [cadmin](#)

タイトルヨミ:

ウチュウ コウクウ ケンキュウ カイハツ キコウ ケイヤク ホウコク

別タイトル:

JAXA contract report JAXA-CR

状態: Active

プロバイダー／パッケージ名: [Freely Accessible Japanese Titles](#)
[Japan Aerospace Exploration Agency](#)

本文言語: [jpn](#)

アクセスモデル: [F](#)

資料種別: [Serial](#)

カバー範囲: [Fulltext](#)

出版者: 独立行政法人宇宙航空研究開発機構

タイトルレベルURL:

<https://repository.exst.jaxa.jp/dspace/jaxapress?select=jaxapress&genre=type&target=type4>

プリント版ISSN / プリント版ISBN: 1349-1148

最古オンライン巻号の出版年月日: 2004

提供最古号: 03-001

NCID: AA11999050

[KBART拡張形式]

[KBART-メタデータの整備-]

Knowledge Bases And Related Tools

イギリスのUKSGとアメリカのNISOの共同プロジェクトで
制定された電子リソースのメタデータ交換における推奨指針



ERDB-JPでは、これを日本語用に拡張した
「KBART拡張形式」と「KBART2拡張形式」の
2種類のデータ形式が利用可能。

ref. ERDB-JPデータ作成ガイドライン

https://erdb-jp.nii.ac.jp/ja/content/metadata_schema

ERDB-JP活用事例

17

SerialsSolutions

1-866-SERIALS (737-4257) あなたのアカウント | サポートセンター & オンラインコミュニティ | お問い合わせ | ログアウト

e-Catalog: プロバイダ ▼ プロバイダ名 (前方一致) ▼

ホーム > データ・マネジメント > データベース詳細

ERDB Project in Japan (Provisional) :: Freely Accessible Japanese Titles

データベース詳細

全般

タイトル (10062)

図書 (298)

雑誌 (9764)

その他 (0)

アップロード

ダウンロード

絞り込み タイトル (前方一致) 絞り込み

タイトル	ISSN/ISBN	種別	ステータス	所蔵範囲	所蔵範囲 (カスタム)
宇宙利用シンポジウム		Journal	Subscribed	2005 - 2007	
宇宙科学研究所報告	0285-2853	Journal	Subscribed	2000 - 2003	
宇宙科学研究所報告. 特集	0285-9920	Journal	Subscribed	2001 - 2003	
宇宙科学研究所年次要覧		Journal	Subscribed	1998 - 2002	
宇宙航空環境医学	0387-0723	Journal	Subscribed	2007 - 2008	
宇宙航空研究開発機構契約報告	1349-1148	Journal	Subscribed	2004	
宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所年次要覧		Journal	Subscribed	2010	
宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所本部年次要覧		Journal	Subscribed	2003 - 2009	
宇宙航空研究開発機構特別資料	1349-113X	Journal	Subscribed	2004	
宇宙航空研究開発機構研究開発報告	1349-1113	Journal	Subscribed	2004	
宇宙航空研究開発機構研究開発資料	1349-1121	Journal	Subscribed	2004	
宇宙航空研究開発機構総合技術研究本部・航空プログラム		Journal	Subscribed	2005 - 2006	
				2005	

ERDB-JPのデータを商用ナレッジベースへ
ディスカバリーサービス/リンクリゾルバ等
で利用可能に

ERDB-JP活用事例

18

まなぶたSearch

宇宙航空研究開発機構契約報告



アドバンス

✕ フィルターをクリアにする

絞り込み

本文あり

学術文献 (査読論文など)

ブックマCatalog(学内所蔵)

資料種別で絞り込む

雑誌論文 (26)

雑誌 / 電子ジャーナル (15)

発行年月日

適合度 ▾ 順による結果41件



☐ 発見の可能性を広げる

1



エンジン排気を含む空力特性推算数値解析技術に関する
委託研究：2010-2011年度研究成果報告書
： [宇宙航空研究開発機構 編](#)

2015

雑誌: [全文へのナビゲート](#)

詳細表示 ▾

2



サイレント超音速機に関する調査研究：平成19年(2007
年)度研究成果報告書 その2
： [日本航空宇宙学会 作成](#); [宇宙航空研究開発機構 編](#)

2009

ディスカバリーサービス→ リンクリゾルバと展開すると...



検索

▶ 利用案内 ▶ お問い合わせ ▶ English

JAXA Repository / AIREX

未来へと続く、宙(そら)への英知

TOP画面

JAXA出版物

シンポジウム・研究会

フリーキーワード

タイトル

JAXA出版物

種別

契約報告 Contract Report

Full Text Navigation



鹿児島大学附属図書館

新しいタブでこのコンテンツを開く

雑誌名	宇宙航空研究開発機構契約報告
ISSN	1349-1148

Freely Accessible Japanese Titles ⓘ ▲
2004 - 現在

版または巻の番号でオンラインジャーナルをブラウズして、このアイテムを探します。

さらに検索オプションを見る ▼

Eメール

エクスポート

日本語 ▼

Full Text Navigationを全画面表示

学術雑誌、学協会誌
=>それぞれの出版元

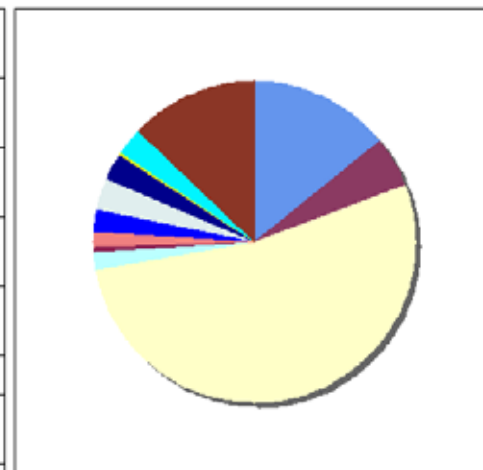
大学紀要等
=>機関リポジトリ



JAIRO Cloud ->ERDB-JP 自動連携で収集

資源タイプ別コンテンツ数内訳（割合）

Journal Article（学術雑誌論文）	279,331 (14.2%)
Thesis or Dissertation（学位論文）	97,855 (5.0%)
Departmental Bulletin Paper（紀要論文）	1,041,354 (53.0%)
Conference Paper（会議発表論文）	34,578 (1.8%)
Presentation（会議発表用資料）	10,926 (0.6%)
Book（図書）	32,180 (1.6%)
Technical Report（テクニカルレポート）	42,690 (2.2%)
Research Paper（研究報告書）	60,496 (3.1%)
Article（一般雑誌記事）	55,733 (2.8%)
Preprint（プレプリント）	614 (0.0%)
Learning Material（教材）	4,346 (0.2%)
Data or Dataset（データ・データベース）	53,595 (2.7%)
Software（ソフトウェア）	46 (0.0%)
Others（その他）	251,775 (12.8%)
合計	1,965,519



※クリックすると詳細な図が別ウィンドウで表示されます

2. 取り組み事例

21

鹿児島大学リポジトリコンテンツ

アイテムタイプ アイテム管理 ツリー編集 査読/承認 インポート レポート 管理 ブロックスタイル

インデックスツリー

新規 削除

ルートインデックス

- 掲載誌一覧
- 鹿児島大学法学論集
- 鹿児島大学法文学部紀要
- 経済学論集
- 鹿児島大学法文学部紀要
- 鹿大英文学
- Discussion papers in ec
- 鹿大史学
- 鹿児島大学教育学部教育
- 鹿児島大学教育学部教育
- 鹿児島大学教育学部研究
- 鹿児島大学教育学部研究
- 鹿児島大学教育学部研究
- 鹿児島大学教育学部教育
- 鹿児島大学理学部紀要
- 鹿児島大学理学部紀要
- 鹿児島大学理学部紀要
- 鹿児島大学理学部紀要
- 鹿児島大学理学部紀要
- 鹿児島大学医学雑誌

インデックス編集 雑誌情報

● 出力しない ● 出力する

項目	値
タイトル*	鹿児島大学水産学部紀要
プリント版ISSN/プリント版ISBN	0453087X
eISSN/eISBN	
最古オンライン巻号の出版年月日	1952 年 7 月 日
提供最古巻	2
提供最古号	1
最新オンライン巻号の出版年月日	2017 年 3 月 31 日
提供最新巻	
提供最新号	
エンバゴ情報	
カバー範囲*	Fulltext
カバー範囲に関する注記	
出版者	鹿児島大学水産学部
資料種別*	Serial
シリーズのタイトルID	
変遷前誌のタイトルID	
アクセスモデル*	F:Free(無料・オープンアクセス)

JAIRO Cloud側

記述する項目はKBARTに対応

2.取り組み事例

22

manabuta

ビュー

編集

翻訳

Broken links

機関名（日）：

鹿児島大学

担当係または担当者名：

学術情報部情報管理課学術コンテンツ係

電話番号：

099-285-7445

機関名（英）：

Kagoshima University

履歴

ユーザー登録から

1年 10ヶ月

パートナー種別：

パートナーA

自動連携URL：

<https://ir.kagoshima-u.ac.jp/weko/kbart/>

最終インポート自動連携ファイル：

KagoshimaUniversityRepository_Global_AllTitles_2017-05-14.txt

機関名（ヨミ）：

カゴシマダイガク

JAIRO Cloud
→ERDBJPへ自動連携

<http://JAIRO Cloudの自機関ドメイン/weko/kbart/>

2.取り組み事例

23

[ホーム](#) » [鹿児島大学水産学部紀要](#) » [鹿児島大学水産学部紀要 のリビジョン](#)

鹿児島大学水産学部紀要 のリビジョン

[週次で更新]

[ビュー](#)

[リビジョン](#)

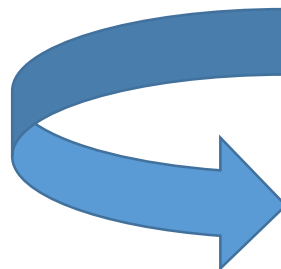
リビジョン	Compare		操作	
月, 05/15/2017 - 06:02 - jairo importer Updated by KBART upload from JAIRO		☒	現在のリビジョン	
月, 05/08/2017 - 06:01 - jairo importer Updated by KBART upload from JAIRO	☒			
月, 05/01/2017 - 10:12 - manabuta	☐	☐		
月, 04/03/2017 - 12:02 - manabuta	☐	☐		
金, 03/31/2017 - 15:01 - manabuta	☐	☐		
金, 03/31/2017 - 14:47 - manabuta	☐	☐		
月, 06/22/2015 - 14:19 - admin	☐	☐		

ナレッジベースのさらなる充実に向けて

24



データ
取得



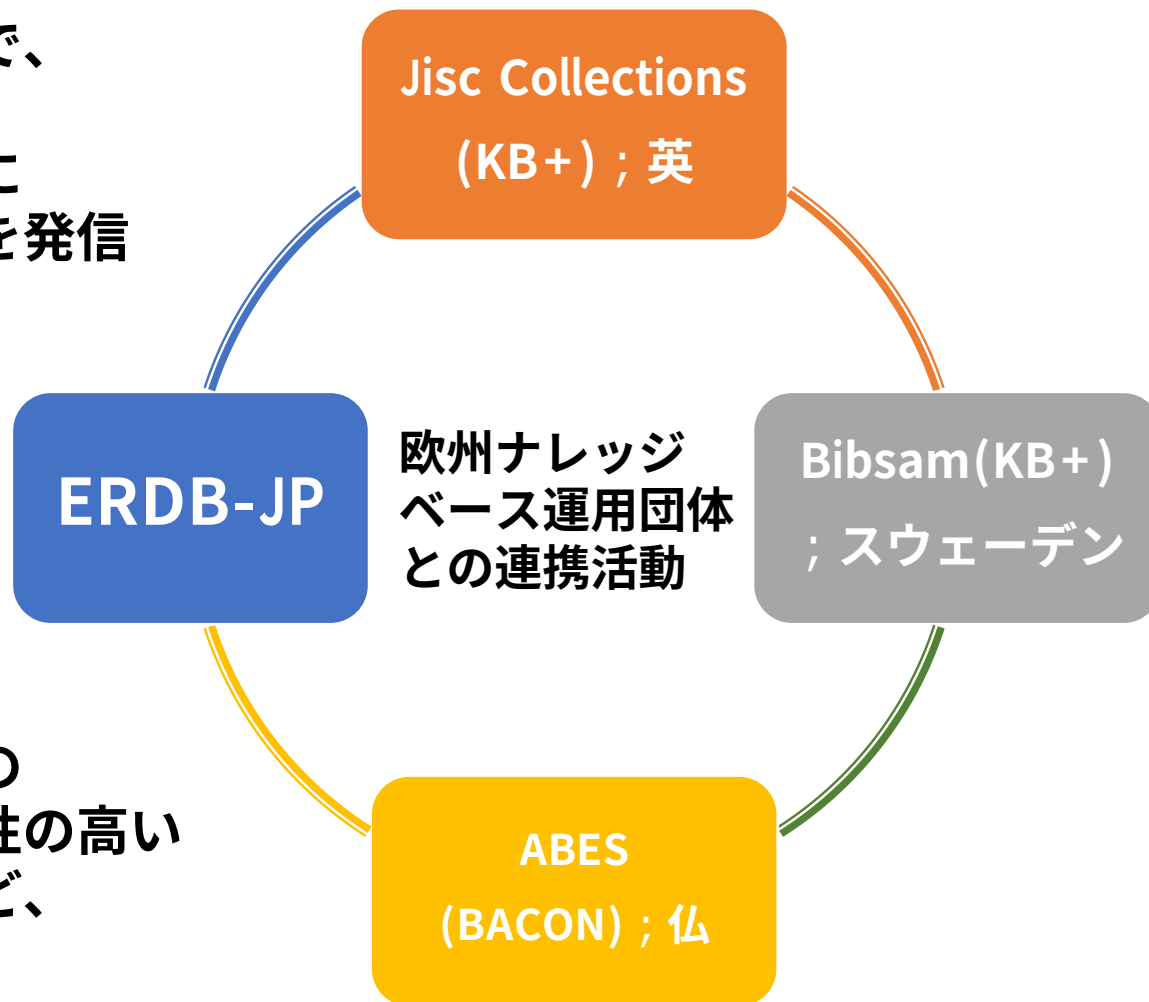
- 医中誌-ERDB-JP連携はJAIRO Cloudと同様の仕様を想定してすすめている。
- ISSNセンター、J-STAGEのレコードは今年度中に追加し定期的に更新。

2. 取り組み事例

25

今年度、海外機関と合同で、
リンクリゾルバー、
情報システムベンダー等に
連携を呼びかける**公開状**を発信

リンクリゾルバー・
情報システムベンダー等の
関係コミュニティに信頼性の高い
メタデータの利用推奨など、
広く協力を促す



Open letter from non-commercial metadata suppliers supporting a more collaborative and transparent approach when working with Link Resolvers and System Vendors

As non-commercial and national knowledge bases, we support Higher Education and Research Institutions by providing metadata for electronic resources management and discoverability.

We have two principal features in common:

- 1) Our activities support the electronic resources supply chain that involves content providers and system vendors/link resolvers.
- 2) We focus on quality service and user satisfaction. Our commitment has been to make all our title lists open and freely available, as we wish libraries to benefit from our work no matter which system they use.

We encourage system vendors/link resolvers to use this metadata to better serve their customers because:

- We are the trusted source of metadata for our respective national communities.
- We provide metadata that meets the needs of our academic library communities.
- Our metadata is corrected and updated in a timely manner to avoid access delays and minimize the financial and performance losses for libraries that may result from such delays.
- We help academic libraries to manage their electronic resources in a context of budget restrictions which give them less and less resources to maintain their local link resolvers' targets and databases.

In order to bring a better service to BAsE de COonnaissance Nationale/Electronic Resources Database-JAPAN/Knowledge Base Plus communities and their customers in France, Sweden, Japan and the United Kingdom, we believe that open knowledge base initiatives and vendors have to work together in several areas:

- All the data available should be uploaded into system vendors' knowledge bases and link resolvers.
- All targets should be clearly labelled with either the Knowledge Base Plus, BAsE de COonnaissance Nationale, or Electronic Resources Database-JAPAN prefix to help identification.
- Users should be alerted whenever Electronic Resources Database-JAPAN, BAsE de COonnaissance Nationale, or Knowledge Base Plus data is uploaded and updated. These alerts should include, for example:
 1. What packages have been/will be uploaded (including their public label).
 2. The date when data was/will be uploaded.
 3. Number of titles contained in these targets according to your system.

- Specific technical requirements from individual vendors' knowledge bases (such as required URL formats or date formats) should be openly available and if possible harmonized in order to facilitate data creation. If Electronic Resources Database-JAPAN, Knowledge Base Plus and BAsE de COonnaissance Nationale have this information, we may be able to fix any upload problems before harvesting.

In order for us to measure whether our members are taking advantage our data, it would be very helpful to receive an annual report showing:

- The total number of BAsE de COonnaissance Nationale/ Knowledge Base Plus/Electronic Resources Database-JAPAN packages included in your system.
- The total number of institutions that have activated them (by country).
- The total number of Electronic Resources Database-JAPAN, Knowledge Base Plus and BAsE de COonnaissance Nationale packages included in your system versus similar targets from different sources, such as publishers.

Sincerely,



About Electronic Resources Database-JAPAN (ERDB-JP)

Electronic Resources Database-JAPAN (ERDB-JP) was launched in 2015 as a one-of-a-kind knowledge base that cumulates electronic resources that were either written in Japanese and/or edited/published in Japan. ERDB-JP is operated by the E-resources Data Sharing Working Group, which was established by the Future Scholarly Information Systems Committee. Together with 47 domestic partners including universities, publishers and knowledge-base vendors, we collect and update content metadata for ERDB-JP. The accumulated content metadata is provided in Extended KBART or Extended KBART2, the extended formats of KBART for Japanese language use, and is available under CC0 Licence.

Contact : Tomoki Ueno, The University of Electro-Communications – Forman, ueno.tomoki@uec.ac.jp

About Knowledge Base Plus (Bibsam and Jisc Collections)

Launched in 2012, Knowledge Base Plus (KB+) is a centrally maintained and managed knowledge base in which Jisc Collections and Bibsam Consortium collate, verify and update knowledge base data, to avoid costly and wasteful duplication of effort by libraries all trying to do the same thing by themselves. KB+ includes verified, accurate and up-to-date publication information for e-journal agreements, including national and regional consortium agreements from across the UK and Sweden and a growing number of non-Jisc packages. All of this is made available under an open licence and disseminated throughout the library supply chain so that organizations have the data they need when they need it.

KB+ data includes data related to Jisc Collections, Scottish Higher Education Digital Library (SHEDL), Bibsam and Welsh Higher Education Electronic Library (WHEEL) consortia.

Contact : Magaly Bascones, Jisc - Knowledge Base Plus Service Manager, Magaly.Bascones@jisc.ac.uk

Karin Widin, Licensing Manager, Bibsam Consortium at National Library of Sweden, karin.widin@kb.se

Christian Linders, Licensing Manager, Bibsam Consortium at National Library of Sweden, Christian.Linders@kb.se

より協力的で透明性のある連携に向けて： 非営利のメタデータサプライヤーからリンクリゾルバ・ 情報システムベンダーへの公開状（抜粋）

私たちは非営利で国レベルのナレッジベースとして、
電子リソース管理・発見のためのメタデータを提供することで、
高等教育機関及び研究機関を支援しています。
主に以下の2点を共通の特徴としています。

- 1) コンテンツプロバイダー及び情報システムベンダー／リンクリゾルバを巻き込んだ、電子リソースの情報流通を支援する活動
- 2) 質の高いサービスとユーザー満足度を重視し、図書館がシステムに依存することなく、構築したタイトルリストをオープンかつ無料で利用できるようにしていること

より協力的で透明性のある連携に向けて： 非営利のメタデータサプライヤーからリンクリゾルバ・ 情報システムベンダーへの公開状（抜粋）

BACON、ERDB-JP及びKB+のコミュニティ、そしてフランス、スウェーデン、日本及び英国のユーザーに対してよりよいサービスを提供するために、オープンナレッジベースとベンダーとは以下の協力を推進します。

すべての利用可能なデータがシステムベンダーのナレッジベースやリンクリゾルバにアップロードされること。
すべてのリンクターゲットについて、KB+、BACONまたはERDB-JPのいずれかのプリフィックスを明示することで識別可能にすること。

ERDB-JP、BACONまたはKB+のデータの登録・更新情報について、ユーザーが以下のアラートを受け取れるようにすること

1. どのパッケージがアップロードされた／されるか
2. アップロードされた／される日付の情報
3. 各システムに準じたパッケージに含まれるタイトル数

ニュース / News

ホーム > ニュース > ニュースリリース > 2017/06/02 ニュースリリース

2017年度

- 2017/06/02 ニュースリリース
- 2017/06/02 ニュースリリース
- 2017/06/01 ニュースリリース
- 2017/05/29 お知らせ
- 2017/05/23 ニュースリリース
- 2017/05/22 採用情報
- 2017/05/19 採用情報
- 2017/05/17 採用情報
- 2017/05/17 採用情報
- 2017/05/16 受賞
- 2017/05/12 採用情報
- 2017/05/12 採用情報
- 2017/05/11 採用情報
- 2017/05/10 ニュースリリース
- 2017/04/26 受賞
- 2017/04/26 受賞
- 2017/04/26 受賞
- 2017/04/11 お知らせ
- 2017/04/11 ニュースリリース
- 2017/04/11 ニュースリリース

ニュースリリース

2017/06/02

欧州のオープンナレッジベース運用団体と共同で公開状を発信／これからの学術情報システム構築検討委員会

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所（NII、所長：喜連川 優、東京都千代田区）と国公立大学図書館協力委員会がつくる「大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議」（*1）の下に設置された「これからの学術情報システム構築検討委員会」は、国レベルで非営利のナレッジベース（*2）を運用している欧州の3団体と共同で、電子リソースの管理・発見環境の改善に向けてリンクリゾルバー（*3）や情報システムベンダーなどに連携を呼びかける「Open Letter」（公開状）を6月2日までに発信しました。同委員会の「電子リソースデータ共有作業部会」が運用する「ERDB-JP（Electronic Resources Database-JAPAN）」などオープンナレッジベースのデータは、大学図書館に検索システムを提供しているベンダーらと連携することで、利用者により正確な情報を届けられるようになります。

本委員会と共同で公開状を発信したのは、英国の「Knowledge Base Plus（KB+）」を運営する「Jisc Collections」と、KB+のデータの一部を構築するスウェーデンの「Bibsam」、フランスの「BAse de COnnnaissance Nationale（BACON）」を運営する「ABES（Agence Bibliographique de l'Enseignement Supérieur）」の3団体です。

2017年6月2日
プレスリリース

3. 今後の課題

32

- 大学で構築しているデジタルアーカイブ

Trust Digital Libraryとのデータ連携開始のお知らせ

2016年11月2日

2016年11月2日(水)より、CINI Booksと米国のHathiTrust Digital Libraryとのデータ連携を開始いたしました。CINI Booksの検索結果画面にHathiTrust Digital Libraryへのリンクが追加され、電子化された本文データが公開されているケースとして閲覧できるようになりました。詳細については「プレスリリース」のページをご覧ください。

- 電子書籍、モノグラフ

- 持続可能なデータメンテナンス体制



国際発信のためには、まず国内電子出版物のさらなる収集とメタデータのメンテナンスが必要

- 「ERDB-JPのデータ整備業務」は定着するか？
- 電子リソースの整備は思った以上に課題も多い。
- 電子リソース管理業務のワークフロー全体を再構築する必要があるのではないか？
- 業務システムの見直しもその一部として検討している。

→続きは、この後の飯野氏の発表で